

インターンシップについて

1. インターンシップの趣旨

平成9年5月16日に閣議決定された「経済構造の変革と創造のための行動計画」及び、文部省の「教育改革プログラム」（平成9年1月24日）では、インターンシップを「学生が、在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験をおこなうこと」としています。

学生が在学中に自分の専攻する分野に関する企業や行政の現場あるいは研究開発部門等で実際の業務を体験することにより、講義、演習や実験等、大学で学修していることの社会的意義や社会との関わりなどについて理解を深め、卒業研究や修士研究に対する自覚と将来への展望を認識しようとするものです。

2. インターンシップの効果

1) 教育機関及び学生にとっての効果

①学生に高い職業意識が醸成される

- ・学生にとって自己の職業適性やキャリアプランを考える機会になり、職業選択の適正化が進む。

②自主性・独創性のある人材の育成ができる。

- ・企業での就業体験から、企業の厳しい実態を知ることにより、自分で考えることの重要性を学ぶ。

③教育内容が実務的方向に改善・充実する。

- ・企業が求める人材要件理解され、産学の連携による人材育成が可能になる。

2) 産業界にとっての効果

①学生の質が向上する

- ・就業体験や実践的な経験を積むことで、学生の職業意識が高くなり、学生の能力の向上につながる。
- ・学生の質的な向上によって、即戦力となる高い能力を持った学生を採用できる。
- ・産業界や企業、職業に対する理解が深まり、学生の適正な職業選択が可能になり、“ミスマッチ”防止になる。

③産業界のニーズが反映される。

- ・教育機関が産業界のニーズを認識し、産業構造に合わせた人材の供給が期待できる。

3. 工学研究科、理工学研究科のインターンシップ概要

工学研究科及び理工学研究科では、インターンシップを選択科目の「学外特別実習A」、「学外特別実習B」として夏季休業期間中に実施し、実施後、報告会を開催し、修了者には単位が与えられる。

4. インターンシップの申込方法

実施企業、時期、募集人数については、5月頃掲示にて通知を行う。